Introduction

さて、ちょっと変わった道へ入り込むことにしよう。道は数学の景色を眺めはするが、狭苦しくて非合法な裏通りである。はっきり言ってまともじゃない。

この道を進むには TEX という地図が頭に入っている必要があるのだが、実際は地図に載っていないところを這い回ることになるだろう。なぜなら、数学の景色を見るためにはまったく不適切な TEX の "マクロ" を使うからだ。不適切というのは TEX が不適切というのではなく、私が示すマクロが不適切という意味である。TEX は優れた "組版（くみはん）" のためのソフトウェアであるが、それを適切に使っていないだけのことである。TEX を数式の記述に優れたワードプロセッサとして使う人はいても、プログラミング言語の代わりに使う人は滅多にいないだろう。ご飯を炊くための炊飯器でケーキを焼く人はいても、下着の乾燥機代わりに使う人が滅多にいないようなものだ。だけど、使えないわけじゃない。

裏道に入り込む前に言っておきたいことがある。それは、この道を進んだからといって、数学や TEX のマクロが "習得" できるわけではない、ということだ。数学について何かを習得しようと思ったら、それなりの数学の書物をそれなりに読まなくてはならない。マクロの習得には、それなりの研究が必要だ。と、こんな風にえらそうに書き出してはいるが、私は数学の専門家ではないし TEX の専門家でもない。そんな者がこんな物を書くのはお門違いかもしれないが、少なくとも何も知らない人より、多少の経験はあると思う（思い過ごしかもしれないが）。しかし、専門家でないことは事実なので、随所に専門家の目に耐えかねる部分が存在するのも確かである。記述を鵜呑みにしないほうが賢明かもしれない。

今回は正統からはずれた道を進む。数学の話はまだよいとしても、TEX のマクロは単に真似たりしないように。たばこを吸っている大人を真似たらひどい目に遭った、ということにもなりかねないからだ。じゃあ、何でこんな道に入り込もうとしているのか。それはただの好奇心に過ぎない。いろいろなことを試して、それで結局痛い目に遭うのだが、それが好きなのだ。

だから、痛い目を見ることなく数学や TEX について詳しく学びたければ、それ相応の書物を手元に置いておくことを勧める。細かいことや厳密なことや正統な作法は、是非そのような書物から学んでほしい。私は単にきっかけを与えることができれば満足なのである。

◇ ◇ ◇

TEX は、コンピュータにインストールして利用する。インストールについて詳しく述べることはしないが、一からインストールするとなると難しいことが多い。たとえば、書籍「LATEX 2_ε 美文書作成入門」に付属している DVD からインストールするのが手軽でよい。TEX は組版のためのソフトウェアなので、書籍のよう

なものを出版するためには大変重宝する。また、数式の処理に優れているので、数式が適切に記述できるワードプロセッサとして使われる場合もある。ただし、使い慣れるまでには少し時間がかかるかもしれない。詳しいことは、TEX について書かれた書物を読んでもらうか、WEB サイトから情報を得るとよいだろう。

また、インターネット上には TEX を体験できるサイトもあるので試してみるとよいだろう。きっと気に入る—ことを期待している。

今回は地面を這い回るように、とても非効率に進む。なんでこんなことしてるんだ、と思うかもしれない。だから意味のないことを楽しめる人向けの道である。それでは、窮屈な道へ入ってみよう。